

2024年9月4日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本サービス業PMI®

及び、auじぶん銀行 日本複合PMI®

事業活動は8月も堅調な成長を継続

主な動向

事業活動と新規事業はさらに増加

受注残、2022年4月以来最大の減少率

サービス単価のインフレ、9か月ぶりの低水準へ

8月のデータは、日本サービス業の事業活動が大きく上昇したことを示唆した。その増加率は7月から横ばいで新規事業は、わずかに緩やかになるも継続的に上昇した。生産能力の増加と新規事業の成長鈍化を受け、企業の受注残は過去28か月間の最大ペースで解消が進んだ。一方、平均間接費がさらに上昇をみせる中で、サービス単価のインフレ率は4月に10年間で最も高い値を記録したのち減速し、2023年11月以来の低水準に低下した。

auじぶん銀行日本サービス業PMI®は、S&Pグローバルがサービス業約400社からの調査回答を基にまとめたものである。対象セクターには、消費者サービス（小売以外）、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれる。

主要指標はサービス業事業活動指数で、事業活動量が前月比でどう変化したかを示す。数値が50.0を超えれば全体として前月比で増加したことを、50.0を割り込めば減少したことを意味する。

8月のauじぶん銀行日本サービス業活動指数は53.7と7月から横ばいで、事業活動が堅調に成長したことを示した。最新の増加は需要回復と事業拡大を反映しており、直近24か月間で23度目となる成長が記録された。

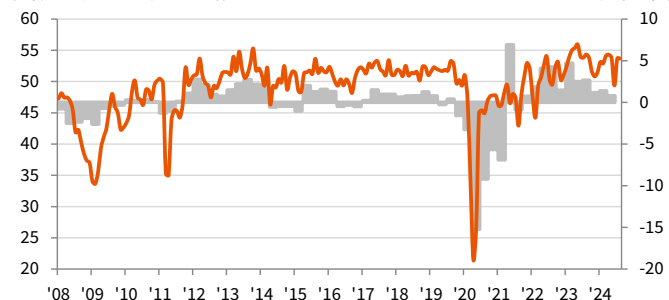
新規事業は8月に2か月連続で増加したが、成長率は7月から

サービス業事業活動指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

家計サービス支出

前年比(%)



出所: auじぶん銀行、S&PグローバルPMI、内閣府 (S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス)

本調査データ集計期間: 2024年8月12日~8月27日。

緩やかになった。調査回答企業らは主に、新規出店、特に日本国内市場における信頼感の回復を指摘した。輸出売上も7月の減少から増加に転じ、第3四半期半ばの全体的な業況成長を後押しした。

サービス業の雇用者数は8月、11か月連続で増加した。企業の実態をみる限り、欠員補充が行われたものの退職者数で相殺されたため、増加率で見ると年初以来の低水準となった。

需要はさらに増加をみせる中、企業らは生産能力の増加により受注残の解消を進めることができ、8月は直近3か月間で2度目となる受注残減少を記録した。減少率は小幅だったが、2022年4月以来最も顕著だった。

最新の調査データは、サービス業の平均間接費が大きく上昇したことを指摘。インフレ率は7月とほぼ変わらず、高騰する人件費や材料費、輸送費が要因に指摘された。企業らではこれらのコストの一部を自社で負担しようとする動きもあったが、サービス単価は上昇。上昇率は昨年11月以来の低水準だった。

サービス業は、今後12か月間にわたる事業活動の成長について楽観的な見方を維持した。景況感は7月から緩やかになり、2023年1月以来の低水準となったが、調査史上平均値を上回った。

auじぶん銀行 日本複合PMI®

民間企業の生産高、8月は成長が加速

製造業とサービス業の複合生産高を測るauじぶん銀行日本複合PMI生産高指数*は8月、7月の52.5から上昇し52.9を記録。変化なしを表す50.0の水準を2か月連続で上回った。最新の指数は、2023年5月以来最も顕著で緩やかな成長を示した。サービス業の堅調な成長に、製造業の生産高増加率が2022年5月以来最大であったことが相まった結果である。

新規受注数は、8月も増加を記録、前月比で僅かに成長した。受注数増加は、サービス業の新規事業が緩やかに増加したことを反映しているが、対して製造業では新規受注数にわずかな減少が指摘された。

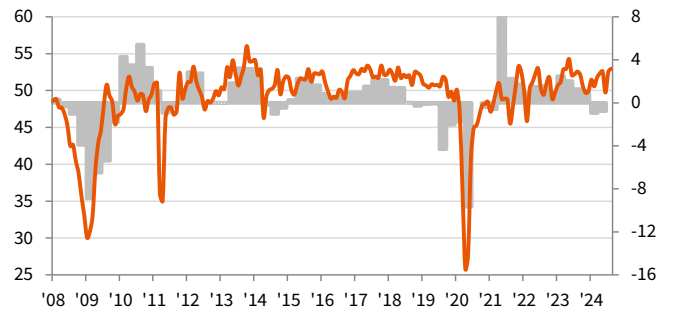
一方、事業活動の見通しは2023年1月以来の低水準に低下した。しかし、調査回答企業らは、経済の見通しが広く継続的に回復するとの期待を示し、企業の景況感は増加が続く期間の平均値を大きく上回った。

民間企業の平均販売価格は、企業らが競争力維持に努めたことで2022年2月以来最も遅いペースで上昇した。その一方で購買価格は8月、全体的にさらに著しいペースで上昇した。

* 複合指数は製造業とサービス業それぞれの指数を加重平均したものである。加重値は、GDP公式データに基づく製造業とサービス業の相対的規模を反映している。

複合生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

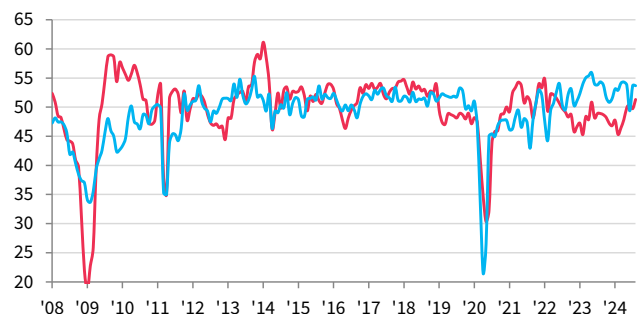
GDP
前年比(%)

出所：auじぶん銀行、S&PグローバルPMI、内閣府（S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス）

製造業生産高指数

サービス業事業活動指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加



出所：auじぶん銀行、S&PグローバルPMI

コメント

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、Usamah Bhattiによる最新調査結果についてのコメント

「8月のデータは、日本のサービス業の業況が当月もプラス成長で推移し、事業活動と新規事業が共に上昇が継続したことを示した。しかし、事業活動の成長率は横ばいで、新規事業の増加も前月から緩やかになった。

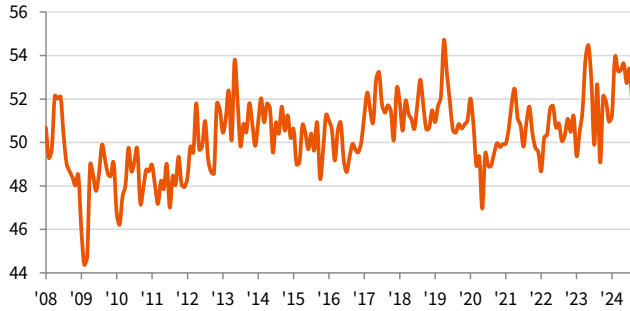
プラスで推移したのは雇用者数も同様で、11か月連続の増加を記録。事業の見通しも最新の調査期間では堅調に推移した。しかし、雇用者数および事業の見通しの上昇率は、それぞれ7か月および19か月間の最低水準に低下した。

サービス業の継続的な成長と製造業の生産高の増加により、日本の民間企業の

健全性がより強く改善した。増加率は小幅だが、2023年5月以来で最大だった。新規事業にもさらに成長がみられたが、8月のデータは、生産高上昇の一部は受注残の解消によるものだったと示唆した。受注残は過去3年間で最も急速に減少した。人手不足に対する懸念の中、景況感が2023年1月以来最も低い水準に低下したが、企業らは今後の生産高予想について強気の見通しを維持した。」

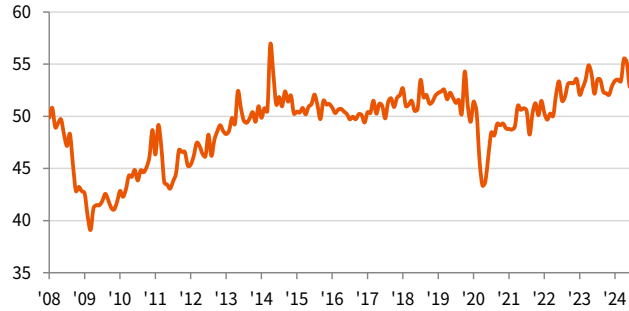
サービス業雇用指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加



サービス単価指数

季節調整済み、>50 = 前月比で上昇



お問い合わせはこちらどうぞ

Usamah Bhatti

エコノミスト

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス

電話: +44 1344 328 370

usamah.bhatti@spglobal.com

SungHa Park

コーポレートコミュニケーションズ

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス

電話: +81 3 6262 1757

sungha.park@spglobal.com

調査方法

auじぶん銀行日本サービス業PMI®は、S&Pグローバル・インクがサービス業約400社からの調査回答をもとにまとめています。対象セクターには消費者サービス(小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれます。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数はサービス業事業活動指数です。これは、事業活動量の前月比での変化についての回答から算出する拡散指数(ディフュージョン・インデックス)です。サービス業事業活動指数は製造業の生産高指数に匹敵します。「サービス業PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業事業活動指数の加重平均です。加重値は、GDP公式データに従った製造業とサービス業の相対的規模を反映したもものとなっています。複合生産高指数は「複合PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調査要因は必要に応じ修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

本調査データ集計期間: 2024年8月12日~8月27日。

PMI調査方法の詳細は、economics@spglobal.com へお問い合わせください。

PMI(購買担当者指数)

購買担当者指数™(PMI®)調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、www.spglobal.com/marketintelligence/en/mi/products/pmi をご覧ください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクは、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクは一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はS&Pグローバル・インクの商標又は登録商標、もしくはS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に使用が許諾されたものです。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料(「コンテンツ」)の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー(「コンテンツプロバイダー」)は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱落(疎漏など)、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失(喪失利益や逸失利益、機会費用など)について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

PMI®

by S&P Global

© 2024 S&P Global

auじぶん銀行日本 PMI のスポンサーは auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専業銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

S&Pグローバル・インクについて

S&Pグローバル・インク(NYSE: SPGI)は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク、分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください: www.spglobal.com

S&Pグローバル・インクのプレスリリースを受け取りたくない場合は、katherine.smith@spglobal.com へお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。